

何か、本当の豊かさとは何か……。山の神秘と荘厳さに魅せられながらも、自然とは比較することの出来ない人間の本质も追求します。人間と人間との関係も奥の深い探求の道です。私は30余年に及ぶ高校の教員生活の中で生徒との心の信頼関係に基づく心のふれ合いを大事にしてきました。それは私の何よりの財産でもあります。

この心の暖かさを胸に、来年1月また厳寒の日高山系に3週間単身で挑みます。自然とは何か!! 人間とは何か!! その真実を求めて!!

(会報担当者：松浦 次男 委員)

◎ 出席報告

会 員 数	56名	出 席 率	函 館 北	12月1日	81.13%
出 席	37名		函 館 東	11月30日	79.27%
欠 席	19名		函 館	11月25日	74.49%
他 ク ラ ブ 出 席	6名		函館五稜郭	11月26日	98.61%
出 席 合 計	43名		函 館 亀 田	11月29日	75.00%
除 外 者	3名				

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・1月5日 プログラム	「新年恒例会」 一乃松 午後6時30分
------------------	------------------------



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

1999~2000年度 国際ロータリーテーマ

**ロータリー2000:** ROTARY2000: ACT WITH  
**活動は一堅実** CONSISTENCY, CREDIBILITY,  
**信望・持続** CONTINUITY

小池 凌一 会長テーマ 『友 愛』



12月15日卓話 市根井 孝悦 氏

## 《第1756回例会》 第22号 12月22日(水)

### 本日のプログラム

### 「クリスマス家族例会」

★会 長 小池 凌一 ★幹 事 阿相 義則

例会場:函 館 国 際 ホ テ ル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

1999~2000 〈第1755回例会〉第21号

12月15日の記録

◎司 会 小池 凌一 会長 ◎斉 唱 我等の生業

◎ゲスト 写真家 市根井 孝悦 氏

◎ビジター 函館R.C.菅原 進 君、函館東R.C.八木橋哲四郎君、  
函館五稜郭R.C.田嶋英人君、七飯R.C.葛西晴夫君

◎会長報告 小池 凌一 会長

○函館共愛会愛泉寮より先日行いました寄付とノースアイラングース演奏会に  
対してのお礼状がきております。

○札幌東R.C.より40周年記念誌が届いておりますので回覧致します。

◎委員会報告

●交換学生委員会 北村 祐治 委員長

交換学生の澤田衣里さん(オーストラリア)、藤野みつるさん(アメリカ)の両  
名から「元気で楽しくやっています。」とのレポートが届きましたので近況報  
告します。

●親睦活動委員会 小笠原 孝 委員長

12月22日クリスマス家族会を催します。今回は景品の交換ではなくオーク  
ションになります。ご協力の程よろしくお願ひします。なお理事役員委員長の  
皆様には2ヶ以上お願ひ致します。

◎幹事報告 阿相 義則 幹事

○和歌山城南R.C.より会報が届いておりますので回覧致します。

○千葉港R.C.より創立15周年式典での記念写真が届いておりますので参加さ  
れました会員へお渡し致します。

◎親睦活動委員会 小笠原 孝 委員長

ニコニコBOX投入報告

小池 会長……BOXに協力。

森(秀) 会員…… ”

小笠原会員…… ”

久保 会員…… ”

木戸浦会員……久し振りです。

戸栗 会員…… ”

広多 会員……市根井先生が本日ゲストスピーカーとして来られました。

高野 会員……STVの放送無事終了しました。

大村 会員……寒くなりました。ころばぬ様に。

片桐 会員……母の葬儀の折の香典ありがとうございます。

◎卓話 「山岳の写真の話」 写真家 市根井 孝悦 氏

私が山岳写真家になるきっかけは、大雪山の1000メートルから2000メートル  
の高山に、花が咲き揃う光景を信じてくれない生徒に写真を撮って見せようとい  
う事から始まりました。いつしかそれが本業となって今日に至っています。私はよく大雪山に入ります。山岳の四季折々の神々の座ともいべき自然のお  
りなす素晴らしさを写真に撮ることに男のロマンを感じ、これ以上の人生はない  
と思っています。自然の荘厳さ、雄大さ、そして神秘性など言葉に表わせないす  
ごさがあります。日高山系の山に入ると朝と夕、熊と出合うことがあります。この頃は熊の習  
性も判り、彼等の縄張りを認めて退去すれば何もおこりません。熊よりも怖い  
のは天候です。特に冬の山に入って写真を撮るのは真に命がけの仕事です。マイナ  
ス20℃時にはマイナス30℃になることもあります。一端山に入ると3週間か  
ら4週間吹雪の中、一瞬のシャッターを切る為に晴れ間を何日も待ち続けます。  
それは忍耐の限界を超えた自分との闘いであり、自然との闘いです。「万事休す」  
と思うことも何度もありました。人間は弱いものです。最後だと思った時、娘と  
か妻とか家族の顔が心に映ります。そういう時でも「生きて帰るんだ」の一念で  
頑張り抜いて来ました。こういう時人間の本质がみえて来ます。人間の幸せとは